



令和7年8月20日（水）

（教）高校教育課 高校教育改革推進係

担当：星野 027-226-4644（内線 4639）

エスエーエイチ イグナイト エス ティー ダイアログ
S A H IGNITE 3.0 ～S (Students)-T (Teachers) Dialogue～

目 的 SAH関係校（指定校・協力校）の先生と生徒が共に集い、フラットな対話を通して、エージェンシーを発揮した対話的で深い学びについて気づきを深める機会とすることで、各校における授業づくりの取組推進に繋がります。

日 時 令和7年7月28日（月） 13時00分～15時00分

場 所 群馬県庁 32階 NETSUGEN（ネツゲン）・31階 GINGHAM（ギンガム）

内 容 （1）オープニング
（2）パネルディスカッション
パネラー 渋川女子高校生徒・教員、高校教育課 指導主事
モデレーター 群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事
（3）S-T ダイアログ
参加した生徒と先生が6名程度のグループに分かれ「エージェンシーを発揮した対話的で深い学び」について対話しながら気づきを深めました。
（4）クロージング

参加者 SAH指定校・協力校の生徒 約60名
SAH指定校・協力校の教員 約20名
県教委事務局職員・一般参加者 約20名 合計約100名

その他 令和5年度から開始したSAH（ステューデントエージェンシーハイスクール）事業について、3年目の今年はエージェンシーを発揮した対話的で深い学びに焦点を当て取組を推進します。

前半のパネルディスカッションでは、渋川女子高校の生徒と教員が登壇し、それぞれ授業に対する考えや思いを語りました。後半のS-Tダイアログには、SAH指定校、協力校等の生徒、職員合わせて約80名が参加しました。参加者が13のグループに分かれて「エージェンシーを発揮した対話的で深い学び」についての対話を通し、授業に関する気づきを深めました。参加した生徒・職員からは「生徒と一緒に議論する経験は、新鮮な気持ちと共に、教員としての自分にとっても大きな刺激となった（指定校教員）」、「授業について他校の生徒や先生と対話する機会は非常に貴重で、自身の学びについて考えるきっかけになった（指定校生徒）」などの感想が聞かれました。

S-T ダイアログの様子



参加者集合写真

